

# IFRS 財団評議員会 プラダ議長来日

にしの ゆうじ  
FASF 事務局次長 **西野 勇治**

## 1. はじめに

本年1月に国際財務報告基準財団(IFRS財団)評議員会の議長に就任したミッシェル・プラダ議長が5月11日に議長就任後初めて来日し、自見(前)金融担当大臣、畑中金融庁長官、経団連代表をはじめとした日本の会計基準の規制当局及び市場関係者と意見交換を行った。ここでは、来日の手配を担当し、また、諸面談に同行した財務会計基準機構(FASF)として今回のプラダ議長来日の様子を報告する。なお、文中の意見にわたる部分は筆者の私見であることをあらかじめお断りしておく。

## 2. 今回の来日の背景

プラダ議長はスキオッパ(前)議長の後任として第5代IFRS財団評議員会議長に2012年1月に就任した後、精力的に欧州・米国の主要な関係者と各国の状況及びIFRS財団の戦略に関しての意見交換を行ってきている。今回の来日は、アジアの主要国であり、今後の関係を最も重視している国の1つである日本を訪問し、会計基準に関連する主要な関係者と意見交換する機会を持ちたいとプラダ議長が希望したた

め、実現したものである。

なお、今回のプラダ議長来日においては、IFRS財団のアルモグ(新)事務局長、パイアット広報部長が同行し、IFRS財団の今後の戦略を中心とした幅広い意見交換に参加した。

## 3. 日本の関係者との面談

来日の翌日にはFASF萩原理事長との懇談会が設けられ、初めての会見であったものの、プラダ議長が直前に訪問してきた中国の印象、また、最近の米国及び日本の状況について率直に意見交換が行われ、個人的な信頼関係も醸成された。

翌日5月13日には、帝国ホテルで開催されたFASF主催の朝食会において、出席された約40名の日本の市場関係者と意見交換を行った。プラダ議長はこの朝食会で、日本のこれまでのIFRS財団／国際会計基準審議会(IASB)への人的、資金的な面を含んだ大きな貢献に謝意を表するとともに、「グローバルな会計基準の道筋」と題し、今回の来日の目的とIFRS財団の今後の戦略を中心に説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。朝食会後は、日本公認会計士協会(JICPA)、東証のそれぞれのトップの方々と個別に面談を行い、夕刻からは

金融庁を訪問し、自見（前）金融担当大臣、畑中金融庁長官と個別の面談が行われた。これらの面談では、欧州金融危機、国際財務報告基準（IFRS）を巡る米国の動き、最近の日本でのIFRSを巡る動きといった点で率直な意見交換が行われた。その後、産業界の代表の方々と夕食をとり、作成者の立場からの意見等について意見交換が行われた。

翌5月14日は企業会計基準委員会（ASBJ）との包括的な意見交換の場が持たれ、プラダ議長は日本の貢献への感謝を述べると同時に、今後の日本への期待と不安について述べた。具体的には、3つの基準が併存することの特異性、5～7年といわれるIFRSへの移行期間の長さについての懸念等、について言及がなされた。また、今後のIASBと各国基準設定主体との関係では、これまでの特定された個別の国との2か国間協議よりも、各国基準設定主体との関係をネットワーク化した形を検討したいとの説明があった。

#### 4. IFRS 財団アジア・オセアニア事務所の視察

プラダ議長は、本年10月に開設される「IFRS財団アジア・オセアニア事務所」（従来、「サテライトオフィス」と呼称していたIFRS財団の東京事務所）が入居する大手町フィナンシャルシティも視察した。現在は建設中のため、内部を確認することはできなかったが、建物外観とロケーションの良さに満足した様子であった。

今後、IFRS財団アジア・オセアニア事務所が入居する大手町フィナンシャルシティサウスタワー5階の一角は「東京金融ビレッジ」と命名され、国際的な金融、会計の教育研修センターとしての活動の場となる予定である。プラダ議長は本年11月15日のIFRS財団アジア・オセアニア事務所の開設記念行事には再度来日し、FASFとともに記念行事を主催すると同時に、日本及びアジア・オセアニア地区の人々にIFRS財団としてのメッセージを伝えたいとの意向である。なお、本年10月からは新しい事務所の責任者となるオフィスダイレクターも着任し、IFRS財団の初めての海外拠点となるアジア・オセアニア事務所の活動が始まることとなる。

#### 5. おわりに

今回の来日中に日本のメディアとの個別インタビューが2回実施されたこともあり、プラダ議長の訪問目的、IFRS財団の戦略といったオフィシャルな見解だけではなく、スキオッパ（前）議長との個人的な繋がり、日本での交友関係等プライベートな面等についても知ることができ、プラダ議長のいろいろな側面を伺うことができた。

プラダ議長は来日スケジュールの最後に白川日銀総裁を表敬訪問し、欧州金融危機、IFRSを巡る米国の動き等で意見交換を行った後、5月14日の夕方の便で証券監督者国際機構（IOSCO）総会が開催される北京に向かった。